

開催概要

いまから約100年前、松方幸次郎（1866－1950）はヨーロッパで西洋美術の一大コレクションを形成しました。「共楽美術館」という美術館を建設して、日本に西洋美術を普及するという志を立てて。そして、松方からちょうど60年後に生まれた山村徳太郎（1926－1986）は、兵庫県西宮市を拠点に1950年代半ばから美術作品の蒐集を開始。公共の財産になることを見すえながら、約30年をかけて戦後日本を対象とした国内有数の前衛美術コレクションを築いたのです。彼らの願いは、現在それぞれのコレクションを収める国立西洋美術館と兵庫県立美術館に受け継がれています。

松方の生誕160年と山村の生誕100年を記念した本展は、国立美術館連携事業の一環として、鑑賞機会の充実とコレクションの活用促進を図るため実現しました。松方コレクションからはロダンの彫刻など近代美術を、山村コレクションからは具体美術協会を中心にした戦後前衛美術を出品します。兵庫ゆかりの二人のコレクターが築いたコレクションの「ダイアログ＝対話」、ひいては二つの美術館のダイアログを通じて、先人がコレクションに託した夢とそのつづきを辿ります。

本展のみどころ

■松方コレクションと山村コレクションの共演

本展は、両コレクションをともにご紹介する初めての機会になります。西洋近代美術と戦後日本の現代美術という性格の異なる両作品群ですが、どちらもより多くの人々に美術鑑賞の機会をという願いをこめて集められた、コレクターとしての松方と山村の功績を伝えるものです。素晴らしい作品が揃うこの機会に、二人が思い描いた夢の光景に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

■ロダンの代表作《地獄の門》を特集

東京の国立西洋美術館からオーギュスト・ロダンの彫刻をまとめてお借りするまたとない機会になります。今回は、松方がはじめての鑄造に貢献した《地獄の門》に関連する彫刻11点と、ダンテ・アリギエーリの『神曲』「地獄篇」をもとに自由に構想を展開させた初期習作の複製をまとめてご紹介します。

■国立西洋美術館と兵庫県立美術館のダイアログ

「コレクション・ダイアログ」のテーマにふさわしく、本展では両館のコレクションの対話も試みます。ロダンの《オルフェウス》2点の比較や、ロダンとジョージ・シーガル作品の対峙によって彫刻の鑄造や、概念と技法の変遷にまつわる彫刻の諸問題にも言及します。また、山村が初期に集め、国立西洋美術館に寄贈された西洋美術のコレクションをお借りすることで、山村コレクションの成り立ちをより視覚的に理解することのできる貴重な機会にもなります。

■彫刻をテーマにしたシンポジウムの開催

ロダンおよび現代美術の彫刻・立体作品が揃う機会を記念して、国内では稀な彫刻・立体をテーマにしたシンポジウムを開催します。ロダン作品の技法や材質について、また美術館における彫刻・立体作品の修復とメンテナンスをテーマに、国内各所からお招きする専門家の方々に発表とセッションを行っていただきます。

松方幸次郎と山村徳太郎



写真提供：川崎重工業株式会社

松方 幸次郎（まつかた こうじろう） 1866-1950

明治の元勲・松方正義の三男に生まれる。1896年川崎造船所の初代社長に就任。神戸新聞、神戸瓦斯の社長、衆議院議員等も務めた。第一次世界大戦中のロンドン滞在時にコレクションを開始し、幅広い年代とジャンルの作品を一挙に蒐集。総数約1万点ともいわれる作品群は、関東大震災や昭和の金融恐慌の影響を受けて会社の経営が傾いたことにより散逸してしまう。パリに保管されていた約400点が戦後、日本に寄贈返還されることになり、その収蔵展示施設として1959年に国立西洋美術館が開設された。



山村 徳太郎（やまむら とくたろう） 1926-1986

兵庫県西宮市に生まれる。1948年に山村製壺所所長に、1955年には山村硝子株式会社取締役社長に就任。この頃より母ハルとともに美術作品の蒐集を開始。当初は国内外の近代美術を集めていたが、母の死を機に方針を転換して、戦後日本の前衛美術を対象を定めた。その結果、海外作家の作品8点を国立西洋美術館に寄贈している。1983年に社長を退任して蒐集活動は加速するも、3年後に志半ばにして逝去。翌年、164点のコレクションが兵庫県立近代美術館に収蔵された。

同時期開催の展覧会

コレクション展Ⅱ

前衛って何だ？！

小企画 | 美術の中のかたち一手で見る造形 青木野枝

10月20日（火）－ 2027年2月23日（火・祝）

特集 | 王一亭とその時代（仮）

12月17日（木）－ 2027年2月23日（火・祝）

チャンネル17 黒川 岳

11月28日（土）－ 2027年1月31日（日）

横尾忠則現代美術館で同時開催の展覧会

Curators in Panic 2 ～ 横尾忠則展 学芸員危機2髪？

9月19日（土）－ 12月27日（日）

Ando Gallery

当館2F（入場無料）

開催概要

国立美術館 コレクション・ダイアログ

松方幸次郎 × 山村徳太郎 ^{しゅうしゅう}蒐集のパッション 一口ダンを日本へ、具体を世界へ

National Museum of Art, Collection Dialogue

Matsukata Kojiro × Yamamura Tokutaro Bringing Rodin to Japan, Taking Gutai to the World

会 期 2026年10月10日(土) - 12月27日(日)

休 館 日 月曜日

ただし、10月12日(月・祝)、11月23日(月・祝)は開館、10月13日(火)、11月24日(火)は休館

開館時間 10:00-18:00 ※入場は閉館の30分前まで

会 場 兵庫県立美術館 1F展示室

主 催 兵庫県立美術館、国立西洋美術館、国立アトリサーチセンター、神戸新聞社

特別協賛 川崎重工業株式会社、日本山村硝子株式会社

協 賛 公益財団法人伊藤文化財団、株式会社アトリエ安藤忠雄

特別協力 公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部

後 援 NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西

観覧料

	当日券	団体料金	前売券(10/9まで)
一般	1,800円	1,600円	1,600円
大学生	1,200円	1,000円	1,000円
高校生以下	無料	—	—
70歳以上	900円	800円	—
障害者手帳等をお持ちの方(一般)	450円	400円	—
障害者手帳等をお持ちの方(大学生)	300円	250円	—

- ・前売販売期間：7月31日(金) - 10月9日(金)(会期中は販売しません)
- ・一般以外の料金でご利用される方は証明書を観覧当日ご提示ください
- ・障害者手帳等をお持ちの方1名につき、介助者1名無料
- ・団体鑑賞(20名以上)でご鑑賞いただく場合は1ヶ月前までにご連絡ください
- ・コレクション展は別途観覧料が必要です(本展とあわせて観覧される場合は割引があります)

【主なチケット販売場所】ローソンチケット、チケットぴあ、セブンチケット、イープラス、CNプレイガイド、アソビュー！

交通案内

- ・阪神「岩屋駅(兵庫県立美術館前)」から徒歩約8分
- ・JR神戸線「灘駅」南口から徒歩約10分
- ・阪急神戸線「王子公園駅」西口から徒歩約20分
- ・JR「三ノ宮駅」から神戸市バス(29、101系統)にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ
- ・地下駐車場(乗用車80台収容・有料)

※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。

※団体バスでお越しの場合はバス待機所のご予約をお願いします。



以下の①～⑦を広報用画像として貸出いたします。
 広報用画像貸出の申請は、下記申込フォームよりお送りください。

申込フォーム：<https://forms.gle/XHjdNwK6rHFHyV3V8>



① 	フランク・ブラングィン 《松方幸次郎の肖像》 1916年 油彩・カンヴァス 国立西洋美術館（松方幸次郎氏ご遺族より寄贈）
② 	オーギュスト・ロダン 《考える人》 1881-82年 ブロンズ 国立西洋美術館（松方コレクション） 撮影：©上野則宏
③ 	オーギュスト・ロダン 《青銅時代》 1877年 ブロンズ 国立西洋美術館（松方コレクション） 撮影：©上野則宏
④ 	ジャン（ハンス）・アルプ 《輪一森》 1951年 ブロンズ 国立西洋美術館（山村徳太郎氏より寄贈）
⑤ 	津高和一 《母子像》 1951年 油彩・カンヴァス 兵庫県立美術館（山村コレクション）
⑥ 	白髪一雄 《天異星赤髪鬼》 1959年 油彩・カンヴァス 兵庫県立美術館（山村コレクション）
⑦ 	ポスタービジュアル ＊キャプション不要

【 画像使用に際しての注意事項 】

◎「作家名」「作品名」「制作年」「所蔵先」「クレジット」などを明記してください。 ◎作品画像の加工（着色、トリミング、文字載せなど）はできません。 ◎基本情報、画像使用の確認のため、ゲラ・原稿の段階で「PR事務局」までお送りくださいますようお願いいたします。 ◎掲載媒体を1部、もしくは URL、同録（DVD、CD）を「PR事務局」宛にお送りください。 ◎画像使用は本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。

《 報道関係者お問い合わせ先 》

「国立美術館 コレクション・ダイアログ 松方幸次郎 × 山村徳太郎」PR 事務局

（株式会社 TM オフィス内）担当：馬場、永井、西坂

MOBILE：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

TEL：050-1807-2919 FAX：050-1722-9032 EMAIL：MatsukataYamamura@tm-office.co.jp

フォームでの入力難しい場合、メールでもお申込みいただけます。

以下の項目を記入いただき、ご返信ください。

E-MAIL : MatsukataYamamura@tm-office.co.jp

貸出画像希望番号	
貴社名	
媒体名	
媒体種別	※いずれかに○印をつけてください。 新聞 テレビ WEB 雑誌 フリーペーパー 会員誌 ラジオ その他 ()
WEB の場合 サイト URL	
掲載・放送予定日	月 日
担当者名	
TEL / FAX	TEL FAX
E-mail アドレス	
読者プレゼント招待券 ☐希望する (組 名) ※最大 2 組 4 名 招待券の送付先 ご住所 〒 - ☐応募宛先を広報事務局とする ※応募宛先は、以下の通りです。 〒541-0046 大阪府中央区平野町 4-7-7-8 階 TM オフィス内「松方幸次郎 × 山村徳太郎」(媒体名) 係	

《 報道関係者お問い合わせ先 》

「国立美術館 コレクション・ダイアログ 松方幸次郎 × 山村徳太郎」PR 事務局
(株式会社 TM オフィス内) 担当：馬場、永井、西坂

MOBILE：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

TEL：050-1807-2919 FAX：050-1722-9032 EMAIL：MatsukataYamamura@tm-office.co.jp

「国立美術館 コレクション・ダイアログ 松方幸次郎 × 山村徳太郎」PR 事務局

(株式会社 TM オフィス内) 担当 : 馬場、永井、西坂

MOBILE : 090-6065-0063 (馬場) 090-5667-3041 (永井)

TEL : 050-1807-2919 FAX : 050-1722-9032 EMAIL : MatsukataYamamura@tm-office.co.jp